

新年あけましておめでとうございます

守口市議会議長 立住 雅彦

人と人をつなぐ豊かなまちを!



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、年明け早々から、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大し、春にはわが国でも初の緊急事態宣言が発令されました。

一斉休校や仕事の自粛など誰もが今まで経験したことがない事態に直面し、市民生活や市内事業所などに与えた影響は計り知れず、将来に対する不安をお感じになったと思います。また、地域活動や諸行事など、今まで私たちが日々の生活を通して当たり前になっていた人と人とのつながりの大切さを再認識させられました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響により開館が延期となっておりました市立図書館が令和2年6月1日に無事開館することができたことは、大変喜ばしく思っております。乳幼児から高齢者まで多世代の方が「育み・学び・交流する」ための人と人をつなぐ施設として、また、知の財産施設としての役割を果たしていくことを期待しております。

今年の干支は丑です。牛と人との付き合いは長く、昔から人に恵みを与える生き物として身近でありました。「牛の歩みも千里」ということわざがありますが、努力を怠らなければ、成果が上がることの例えとして使われております。

市議会といたしましても、役割と責任の重さを自覚し、市民の皆さまの代表として努力と精進をし、なかなか収束の見えないコロナ禍ではありますが、子どもから高齢者の方まで市民を守り、豊かに暮らしていくために、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、実り多き一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

守口市長 西端 勝樹

魅力ある定住のまちの実現へ



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、その影響は現在でも続いております。

我が国においても緊急事態宣言が発令され、皆様の日々の生活も相次ぐ自粛により大きく様変わりしたことかと思いません。

また、56年ぶりに東京で開催される予定であったオリンピック・パラリンピックも、1年程度の延期を余儀なくされました。

本市としましても、ガンビア共和国代表選手団のホストタウンとして、さまざまな交流イベントなどを検討していた矢先のことであり、本年の開催を切に願っている次第です。

さて、昨今の日本経済に目を移しますと、緊急事態宣言発令下であった令和2年4月・5月と比べますと、経済活動の再開や、各種消費喚起策の開始もあり、持ち直しつつあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には及ばない情勢となっております。

今後も感染症収束の目途が立たず、長期化が予想される中で、雇用や所得への影響をいかにして防止するか、喫緊の課題として捉えております。

本市といたしましても、市民の皆様はもとより、市内の事業者様など、全ての方の生活、経営を守ることができるよう、支援事業を展開するとともに、より多くの方に「守口市に住みたい」、「守口市に住み続けたい」と感じていただけるような、魅力ある定住のまちを築き上げていく所存でございますので、どうか皆様には、より一層市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。